

令和5年度

劇場・音楽堂等活性化・ネットワーク強化事業

(地域の中核劇場・音楽堂等活性化)

成果報告書

団 体 名	公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団	
施 設 名	調布市せんがわ劇場	
助 成 対 象 活 動 名	公演事業・人材養成事業・普及啓発事業	
内 定 額 (総 額)	7,759	(千円)
	公 演 事 業	1,819 (千円)
	人 材 養 成 事 業	1,885 (千円)
	普 及 啓 発 事 業	4,055 (千円)

1. 事業概要

(1) 令和5年度実施事業一覧【公演事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数(人)	
		主な実施会場		目標値	
1	親と子のクリスマス・メルヘン2023 『オズのまほうつかい』	2023年12月8日~12月17日	[監修]小笠原 響(劇場監修・演出家) [演出・振付]深堀絵梨 [脚本]角ひろみ [出演]松尾望(ドロシー)、松森謙治(トト)、小見美幸(魔女/エムおばさん/ケシの花の女王姉)、山根博(オズ大王/ヘンリーおじさん)、田花遥(かかし/男子/マンチキン/ケシの花) ほか [空間デザイン]平野雄介 [音楽・音響]竹本仁 [照明]宮崎絵美子 [振付アシスタント]松尾 望 [舞台監督]廣瀬正仁 [衣裳]國時 誠、國時里織 [宣伝美術]辻 統太 [アニメーション]林 摩耶 [当日映像]近藤真左典 [写真撮影]大洞博靖、福長昌枝 [制作]山根 博	目標値	800
		調布市せんがわ劇場		実績値	949

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

(2) 令和5年度実施事業一覧【人材養成事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要	入場者・参加者数(人)	
		主な実施会場	(演目、主な出演者、スタッフ等)	目標値	実績値
1	せんがわ劇場演劇コンクール	2023年5月20日、21日	<p>■第13回せんがわ演劇コンクール [本選出場者]第13回せんがわ演劇コンクールファイナリスト5団体 [監修]小笠原 響(劇場監修・演出家) [企画監修]徳永京子(演劇ジャーナリスト) [審査員]井出茂太(振付家・ダンサー)、大石将弘(俳優)、瀬戸山美咲(劇作家・演出家)、永滝陽子(株式会社ネビュラエンタープライズ専務取締役)、徳永京子(演劇ジャーナリスト)、一般審査員16名、全ての公演を観劇した一般観覧者 [スタッフ]アフターディスカッション演出・制作補佐/葉原秀一制作/小野明日香 制作補佐/櫻井拓見 制作補佐/佐川大輔 制作・ファイナリスト団体担当/一宮周平、深堀絵梨、小林真理恵、山下 由、宮崎玲奈 総合舞台監督/廣瀬正仁 照明監修/関 定己 [各賞] グランプリ:劇団野らぼう オーディエンス賞:終のすみか 劇作家賞:前田斜め(劇団野らぼう) 演出家賞:前田斜め(劇団野らぼう) 杯優勝:武田知久(終のすみか) [アフターディスカッション] 審査終了後専門審査員や一般審査員、鑑賞者が集い地域と表現者の出会いを生み出すとともに、表現者の新たな気付きや鑑賞者は舞台芸術への理解を一層深める双方向かつ互恵的な場となった。 ◆第13回せんがわ劇場演劇コンクール受賞公演プロモーション オーディエンス賞受賞公演:2024年5月24日(金)~26日(日) グランプリ受賞公演:2024年5月27日(月)~6月2日(日) 2024年度に実施する当受賞公演に向けて受賞公演をきっかけに団体活動が拡大するよう、地域の劇場として発信し、支援を行った。</p>	目標値	一般鑑賞者300 (一般鑑賞者60×5ステージ※有効座席数66席)、市民審査員16(募集定員16)
		調布市せんがわ劇場	<p>[選考委員]高橋多佳子、坂井千春、近藤嘉宏、下田幸二、浜野与志男、市民審査員7人 [結果]応募者:32人、最優秀賞:田代優奈、下山理子 優秀賞:八部</p>	実績値	一般鑑賞者290 (一般鑑賞者※有効座席数64席)、市民審査員16(募集定員16)
2	せんがわピアニストグロージングプログラム	(予選)2023年8月23日、(本選)2023年8月27日	[選考委員]高橋多佳子、坂井千春、近藤嘉宏、下田幸二、浜野与志男、市民審査員7人 [結果]応募者:32人、最優秀賞:田代優奈、下山理子 優秀賞:八部	目標値	オーディション受験者:30、

		(受賞公演) 2024年2月17日、18日	陽菜、石井来実 市民審査員賞：下山理子 ◆第12回せんがわピアノオーディション受賞公演 [出演者] ジョイントリサイタル(市民審査員賞) 八部陽菜、石井来実 リサイタル(最優秀賞) 田代優菜、下山理子 ◆その他せんがわピアニストグロ ーイングアッププログラムの内 容 セルフプロデュース力養成(宣材作 成等)、メディアトレーニング(地域 メディアへの出演(ラジオ、ケー ブルテレビ、YouTube))		一般観覧： 延べ80/ 市民選考 委員：6 受賞コン サート入 場 者：109×2 公演
		調布市せんがわ劇場		実績値	オーディ ション/ 受験者： 30人(応 募32人) 一般観 覧：延べ 92人 市 民審査員 7人 受賞コン サート/ 入場者 313人
3	DEL(ドラマ・エデュケー ション・ラボ)	詳細右記	1.メンバー募集 せんがわ劇場演 劇コンクールファイナリストを中 心に広く新規メンバーを募集 2.認定プログラム 日程：2023年7月11日・12日、 2023年8月12日・13日 会場：仙川ふれあいの家 講師：佐川大輔(せんがわ劇場演 劇ディレクターチームチーフディ レクター)、タカミナオミ、有川義孝 ※3名ともDELメンバー 内容：せんがわ劇場の概要、DEL、 演劇アウトリーチについて講義、ア ウトリーチプログラムの作成など、 実践を交えた研修を行った。 また、近年問題となっているハラ スメントの防止についての専門的知 識を深めるため、動画視聴形式に よる研修をあわせて行った。 3.育成プログラム 「特別支援学校の子どもたちに向 けた演劇的手法を用いた実践とそ の心構えについて」 日時：ZOOMワークショップ 2024年	目標値	50
		調布市せんがわ劇場ほ か		実績値	53人(令 和5年度 新規加入 12人)

			<p>1月20日(土)、1月24日(水) / 実践ワークショップ 2月1日(木)、7日(水)</p> <p>講師：倉品淳子(俳優・演出家・演劇ワークショップファシリテーター)</p> <p>4. アウトリーチ事業用のワークショップ付き移動公演の創作 多彩な職能を有するメンバーが集まるDELの強みを生かし、アウトリーチ事業に活用する「演劇作品と作品に関連したワークショップ」の創作・試演を行った。</p> <p>【DEL 運営監修】小笠原 響(演出家)</p>	
--	--	--	---	--

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

(3) 令和5年度実施事業一覧【普及啓発事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要	入場者・参加者数(人)	
		主な実施会場	(演目、主な出演者、スタッフ等) (演目、主な出演者、スタッフ等)		
1	エンゲージメントコンサート1 サンデー・マティネ・コンサート～午後への前奏曲～	2023年4月16日 2023年5月14日 2023年9月17日 2023年11月12日 2024年1月21日	[会場] 調布市せんがわ劇場ホール 各回45分公演 vol.250 春のスタートコンサート 出演:竹内あすか(フルート)、浜野与志男(ピアノ) vol.251 デュオの魅力、後期ロマン派の響き 出演:Duo Akiina(ヴァイオリン、ピアノ) vol.252 世界の楽器シリーズ ～ハーディ・ガーディの世界～ 野崎真弥、久野幹史(ハーディ・ガーディ) vol.253 初秋におくる、日本の歌～詩とメロディの描くうた絵本～ 出演:志村美土里(メゾソプラノ)、松井康司(お話・バリトン)、松本康子(ピアノ) vol.254 ～音と語りで楽しむ物語 出演:桐朋芸術短期大学学生(管弦楽、ナレーション) vol.255 若きピアニストの未来 出演者:小嶋早恵(ピアノ) [企画監修] 上原 宏(桐朋学園大学音楽学部教授/せんがわ劇場音楽アドバイザー) 松井康司(桐朋学園芸術短期大学教授/せんがわ劇場音楽アドバイザー)	目標値	654
		調布市せんがわ劇場		実績値	631
2	エンゲージメントコンサート2 あなたのための音楽会	2023年9月20日 2023年10月25日	五十嵐薫子ピアノリサイタル 出演:五十嵐薫子(ピアノ)、住谷美帆サクソフォンリサイタル 出演:住谷美帆(サクソフォン)・高橋優介(ピアノ)	目標値	180
		調布市せんがわ劇場		実績値	216人
3	エンゲージメントコンサート3 ファミリー音楽プログラム	2023年11月19日 2024年1月28日	ルルのラララ♪おもちゃ箱 出演:おとみつく(音楽ワークショップ・アーティスト)	目標値	200 (50×4公演)
		調布市せんがわ劇場	おやこのための演奏会入門 出演:桐朋学園音楽大学学生(ピアノ、弦楽四重奏)、上原 宏(桐朋学園大学教授、せんがわ劇場音楽アドバイザー)	実績値	361
4	市民参加演劇「人魚姫裁判 ～今に蘇るおとぎ話の世界～」	2023年10月14日(土)、15日(日) ※稽古:2023年9月1日(月)～10月13日(金)	[監修] 小笠原響(劇場監修・演出家) [スタッフ] 構成・脚本・演出:佐川大輔(せんがわ劇場 チーフディレクター) 照明:宇野敦子 音響:越川徹郎 美術・舞台監督:広瀬正仁 衣装:有島由生 宣伝美術:宮川奈歩 演出	目標値	260
		調布市せんがわ劇場		実績値	389

			<p>助手：中原くれあ 公社流体力学 a. k. a. 太田日曜 制作助手：真砂麻衣 バリアフリー企画制作：柏木俊彦</p> <p>内容：「人魚姫」を題材とし、他社理解の達成を狙いとした「市民参加による演劇」を行う。創作過程において、一部の場面を参加者のディスカッションから作る。おとぎ話の世界観をベースとし、現実の社会課題に虚構というフィルターをかけ、「セリフを考える」という共通目的を持つことで、扱われている問題と適度な距離を置き、より客観化して考えられるようにする。</p>		
5	せんがわ劇場演劇アウトリーチ（コミュニケーション育成）	2023年4月19日～ 2024年3月30日	調布市立第七中学校はしうち教室（分室型不登校特例校）ACW 調布市立第七中学校はしうち教室（分室型不登校特例校）表現科 23回 白百合女子大学りすぶらん・あんふあん （子育て支援ルーム（6/29(木)8組, 7/20(木)10組＝計18組） 調布市立第七中学校（通常学級）コミュニケーションワークショップ 1回×4クラス 7/14(金) 132人 児童養護施設 調布学園(まんまる) 1回 15人 母子生活支援施設皐月 1回 25人 調布市立神代中学校 11組(特別支援学級) 2回 11/27(月)22人 2/19(月) 22人 計44人 調布市適応指導教室 太陽の子 1学期5回 2学期8回 3学期5回 163人 ゆうあい福祉公社 4回 26人 [スタッフ] 「DEL」(人材養成事業/事業番号3)のメンバー [監修] 小笠原 響 (演出家)	目標値	延べ 2,200
		市内中学校・公共施設等	実績値	809	
6	せんがわ劇場演劇アウトリーチ（鑑賞型）	詳細右記	[実施場所] 調布市立国領児童館 8/22 調布市立多摩川児童館 2/25 東京都立調布特別支援学校 11/29 [上演作品] GON～ある小さなキツネとある人間のお話～ [作・演出] タカミナオミ [出演] 豊田加奈子、青木まさと、大石丈太郎 [スタッフ] 企画制作：佐川大輔 制作助手：中原くれあ [監修] 小笠原 響 (演出家)	目標値	延べ 430
		市内児童館等	実績値	133	

7	せんがわ劇場音楽アウトリーチ	詳細右記	調布市立緑ヶ丘小学校 9/13 出演:東京混声合唱団 調布市立第二小学校 10/19 出演:東京混声合唱団 調布市立国領小学校 10/20 出演:東京混声合唱団 調布市立上ノ原小学校 10/27 出演:東京混声合唱団 調布市立若葉小学校 10/25 出演:桐朋学園大学打楽器専攻学生 調布市立滝坂小学校 出演:おとみっく 調布市立上布田保育園 出演:ピーフルーダ・ママン(フルート・ピアノ・パーカッション)	目標値	1,200
		市内小学校・保育園		実績値	1,613
8	夏休み子ども表現ワークショップ 2023 劇場で、レッツ劇作! ~「オズの魔法使い」から、じぶんでつくるぼうけんへ~	2023年7月31日~8月6日	7/31 ・シアターゲームを通じてコミュニケーションを図る ・『オズの魔法使い』の物語体験(アプライドドラマ) 8/1 ・「りんご」「冒険」のイメージを膨らませるワーク ・ワークで出た単語を使って短い話を作り発表する(ワンワードストーリー) 8/2 ・ト書きを書いてみよう ・セリフを書いてみよう ・セリフ発表 8/3 ・冒険について話し合う ・台本作成開始 ・できたところまで中間発表 8/4 ・台本の完成 ・チームごとの発表 ・練習 8/5 ・チームで練習後完成 ・事前発表 8/6 発表会	目標値	20
		調布市せんがわ劇場		実績値	56

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

2. 自己評価

(1) 妥当性

自己評価
<p>ミッション（社会的役割等）・ビジョンや地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。</p>
<p>（公演事業）劇場のミッション「質の高い文化芸術で市民の心を耕す」を達成するため、企画性の高い舞台芸術を創造・発信することで市民に感動体験を提供し、個人や家族のウェルビーイングに変化を起こすことを目標に事業を実施した。調布市の将来人口推計（調布市. 2018. 03）や市民意識・ニーズ調査報告書（調布市. 調布市文化・コミュニティ振興財団 2018. 03）をもとに地域の実情・ニーズを調査したうえで、地域の公立文化施設としてふさわしいテーマ、対象等を設定し、地域にとって訴求力の高いアーティストを招聘し事業を組み立てた。</p>
<p>（人材養成事業）劇場のミッション「豊かな想像力と創造性を備えた次世代を育てる」を達成するため、次世代を担う舞台芸術活動者が質の高い競争により創造力・創造性を高めていく場を設け、養成する人材像を「知識や能力を地域に還元できる舞台芸術活動者」とし、事業を実施した。対象者自身が抱く舞台芸術活動への課題や展望を聞きながら、劇場を拠点に活躍する姿を明確にし、共に地域課題解決にあたるサイクルを強固なものとした。</p>
<p>（普及啓発事業）劇場のミッション「質の高い文化芸術で市民の心を耕す」「文化芸術で居心地のよいまちづくりに貢献する」を達成するため、1人でも多くの市民に文化芸術を提供し文化芸術を生活の一部にすること、地域の文化環境づくりを通じた社会課題の解決に貢献することを目標に事業を実施した。これまでの実施事業における来場者アンケートや市民意識調査をもとに地域の実情や選好を検討し、多彩で親しみやすい鑑賞機会や参加型事業を組み立てるとともに、地域の潜在・顕在的課題を踏まえたアウトリーチ事業を実施した。</p>
<p>（総括）公演事業、人材養成事業、普及啓発事業とも調布市せんがわ劇場条例（調布市. 平成 19(2007)年 9 月 21 日条例第 32 号）、「豊かな芸術文化・スポーツを育むまちづくり宣言」（調布市. 平成 27(2015)年）を踏まえつつ、劇場のミッションの達成に向けて、適切な組み立てと支障のない事業実施ができたと考えている。</p>
<p>助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。</p>
<p>（文化的意義）当劇場がある調布市仙川地域は、芸術系大学が所在する「表現者を育む文教地域」と言え、文化芸術への関心度や要求度は高い。その中で、劇場職員と専門人材による検討・選定によって、広く愛される世界的著作を實力ある劇作家と作品との親和性が高い演出家を起用し、ターゲット層への訴求力を高めた演劇作品の上演（公演事業－事業番号 1）、地元の芸術大学での研鑽を経て国際コンクールに入賞した演奏家のリサイタル、あまり触れる機会のない世界の楽器に着目した演奏会（普及啓発事業－事業番号 2～4）を実施することで質の高い文化芸術を提供し、地域の芸術鑑賞環境の向上に寄与している。</p>
<p>（社会的意義）地域団体、教育機関、福祉法人との連携や地域で活躍できる舞台芸術活動者の養成を通して、施設のリソース以上の価値を生み出すことを企図している。具体的には、アウトリーチ事業（普及啓発事業－事業番号 5～7）における教育機関や社会福祉団体との連携、演劇公演（普及啓発事業－事業番号 8）における障害者向けバックステージツアーの企画や上演中の字幕掲出、FM 補聴システムの活用による解説実施、アウトリーチ人材の養成（人材養成事業－事業番号 3）及び活用（普及啓発事業－事業番号 5～7）を実施し、文化芸術の社会的価値の創出及び地域社会に貢献している。</p>
<p>（経済的意義）総務省「社会生活基本調査（平成 28(2016)年度）」によれば、舞台芸術全般における鑑賞者は横ばいもしくは減少傾向にある。そのような中で舞台芸術の経済圏の維持・拡大に向けて、当劇場ではアウトリーチ事業やワークショップ等の普及啓発事業を実施してきた。左記事業は従来の鑑賞事業では対象とならなかった市民への文化芸術体験機会を提供し、公立文化施設等の鑑賞公演や貸館といった従来型事業をより効果的なものにするるとともに、中長期的視点における舞台芸術経済圏の維持・拡大につながることを期待していると言える。</p>

(2) 有効性

自己評価

目標を達成したか。

公演事業、人材養成事業、普及啓発事業の各目標に対応した指標を設定した。目標の到達度合いを多角的に図るため複数の指標を設定し、同一目標内の指標がトレードオフの関係とならないよう留意した。各指標の達成状況は以下のとおりであり、目標値を達成した指標については「★」を付記する。(公演事業) 目標を達成した指標の数 3指標中2指標

【指標①】来場者満足度 [目標値] 95%以上 [実績値] 96.4%

【★指標②】入場者率 [目標値] 93%以上 [実績値] 99.9% ※入場者率=有効座席数に占める入場者の割合

【指標③】ターゲットを対象とした券種(※)の販売占有率 [目標値] 70%以上 [実績値] 64.3%

※一般親子ペア券、平日親子ペア券、会員おやこペア券、クッション席(赤ちゃんOKデーのみ)

(人材養成事業) 目標を達成した指標の数 5指標中4指標

【★指標①】鑑賞者・市民審査員の満足度(事業番号1・2)

事業番号1 [目標値] 95%以上 [実績値] 100% 事業番号2 [目標値] 90%以上 [実績値] 98.5%

【指標②】オーディション応募者数(事業番号2) [目標値] 50人以上 [実績値] 32人

【★指標③】「おおいに成長のきっかけとなった」と感じた参加者の割合(事業番号1・2)

事業番号1 [目標値] 60%以上 [実績値] 62.0% 事業番号2 [目標値] 60%以上 [実績値] 72.0%

【★指標④】DELメンバー新規登録者数(事業番号3) [目標値] 7人以上 [実績値] 12人

【★指標⑤】「今後も引き続き応援したい」と思う鑑賞者の割合(事業番号2) [目標値] 80%以上 [実績値] 100%

(普及啓発事業) 目標を達成した指標の数 4指標中3指標

【指標①】来場者満足度(事業番号1~3合計) [目標値] 95%以上 [実績値] 94.9%

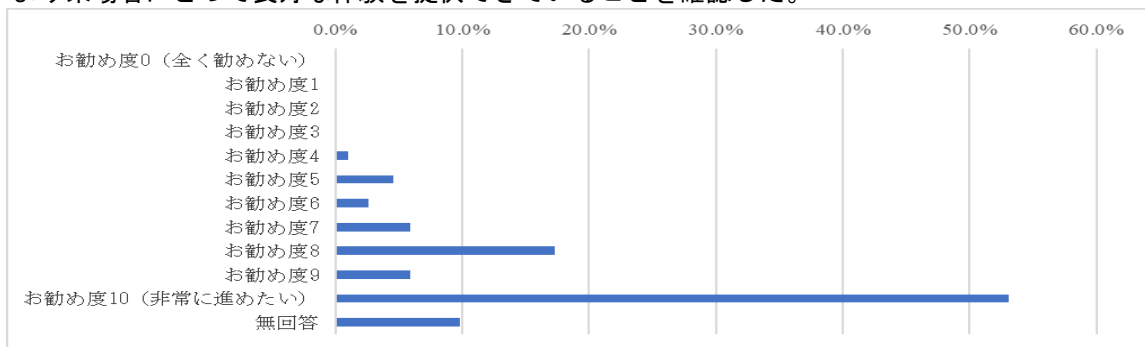
【★指標②】新規又は久しぶりに来た参加者の割合(事業番号1~4,8合計) [目標値] 40%以上 [実績値] 62.2%

【指標③】「芸術・文化は大切だ」と回答する参加者の割合(事業番号5~7合計) [目標値] 90%以上 [実績値] 91.8%

【指標④】事業実施件(場所)数(事業番号5~7合計) [目標値] 22件以上 [実績値] 21件

全指標の達成度合いにおいては、全計画事業を通じて概ね目標を達成したと言える。

また、令和5年度から既存の実績測定に加え、事業の価値評価についてネット・プロモーター・スコア(Net Promoter Score=NPS)の測定を導入した。一例として、公演事業(事業番号1・来場者アンケート集計結果より下表抜粋)では目標値を40%以上としたところ、「(この公演を)非常に勧めたい」と回答した実績値は50%を超え、当該事業により来場者にとって良好な体験を提供できていることを確認した。



(3) 効率性

自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。

(公演事業) 事業番号1はクリスマス時期のシリーズ企画として劇場開館期から継続実施している。ターゲットをファミリー層とし、毎年開催を楽しみにするニーズに答えつつ、芸術性・企画性に富んだ舞台芸術を楽しむ機会を多くの観賞者に届けることができ、「質が高くターゲット層にとって強い話題性のある舞台芸術作品を創造・発信し、地域に親子で文化芸術に親しむ習慣を根付かせる」目的において「習慣を根付かせる」効果を高めるためには、実施期間は適切であったと考える。

(普及啓発事業) 1人でも多くの市民に文化芸術を提供し文化芸術を生活の一部にすること、地域の文化環境づくりを通じた社会課題の解決に貢献することを目標とし、事業番号1～3は通年で開催時期の偏りなく実施できた。事業番号5～7は、学校をはじめ公共施設での実施に当たり、事業詳細及び日程を入念に協議し、効果の高い時期(参加者が多く見込める・市教育委員会主催連合音楽会前・授業单元など)に実施することができた。

事業番号4は、子ども向け事業であり、対象者が参加しやすい夏休みに開催した。事業番号8は、本番前稽古期間を含む3か月の実施期間について、参加者アンケートに「適切である」との声があり、適切であったと言える。

(人材養成事業) 事業番号1を年度初旬に開催、上位入賞者が事業番号3で認定プログラム受講後に加入する流れを汲み、並行して定期的なミーティングや育成プログラム、オリジナル作品制作の実施などを通年で偏りなく活発な活動を継続できるようにした。事業番号2は、コンクール本選を実施後、受賞公演開催までにおよそ半年間でプロモーション活動、プログラム構成などを行っており、受賞公演までの十分な準備期間を設けることができ、また他の音楽事業との開催時期も含め劇場事業全般として適切な実施期間を設定することができた。

アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。

助成対象全事業の決算額は、要望額に対し99.1%で、全体では20%以上の大きな乖離を生じさせることなく事業完了させることができ、事業毎(公演・人材養成・普及啓発)の決算額についても要望額に対して20%以上の乖離は生じなかった。

しかしながら、上述の結果については、個別の各事業において適正な範囲内で資源の再配分を行っており、当初計画と比較した場合、項目ごとには乖離が生じた事業もあることから、今後は当初予算等策定額の精度向上を図ったうえで適切な執行を行っていくことができるよう努めていくことを課題とする。

公演事業では、助成対象支出額は当初予算比で102%という微増があった一方、収入額は当初予算比112%となり、作品自体と広告宣伝の訴求力の高さが好結果をもたらした。

人材養成事業では、助成対象支出においては、当初予算比で104%となり、微増の結果となった。一方、当該事業は高いレベルでの競争によって若手舞台芸術活動者の創造力・創造性を高める、能力や知識を地域に還元できる地域で活躍する舞台芸術活動者を養成するという、「若手の活動者の参加を促進する」観点から事業への参加費を抑え、観覧における入場料等を無料または低廉としながら、当初予算比で108%の収入を得たことは、参加者が事業趣旨に賛同し、自身の活動の啓発と技能向上を図る機会としたことと、その活動に興味を持ち、応援する鑑賞者が期待値以上に存在したことを示したものと考えられる。

普及啓発事業では、「文化芸術を市民生活の一部にする」という目標達成にあたり、地域のリピーターに親しまれつつ、文化芸術に親しむ機会が少なかった市民をターゲットに、新たに劇場に足を運び感動体験ができる場の提供と地域の文化環境づくりに貢献することについて、調布市の東端にある定員121人の小劇場から発信していくという課題を達成するため、参加費を低廉または無料としていることから、助成金申請時点から極力支出を抑えつつ収入を確保することに努めた。その結果、助成対象支出は当初予算比で95%、収入は107%となった。

(4) 創造性

自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。

当劇場が地域の文化拠点として、事業に関与する人材面、施設面、舞台芸術等の創造面の各視点から機能を最大限に発揮する事業を実施したか、また継続的に実施するための機能が発揮されたかを評価する。

【DEL（ドラマ・エデュケーション・ラボ）（人材養成事業3）】

せんがわ劇場演劇コンクール（人材養成事業1）の出身者を中心に構成するDELは、演劇アウトリーチ事業をはじめとする劇場主催事業に参画する専門性を有するグループであり、認定・育成プログラムの受講による育成を人材養成として行うとともに、メンバー内での勉強会なども実施し、当劇場外で各自が得たスキルが蓄積され、活かされている。

【専門的外部人材の活用（人材面）】

当劇場では企画立案、制作、監修といった各プロセスで専門的外部人材が関与し、事業を運営している。

＜監修＞劇場事業全般を監修し、公演・普及・人材養成とそれぞれにおいて運営、企画制作についての助言等を行う。事業の芸術面における質の向上に寄与し、特に公演事業においては、事業のゴールである「企画性の高い舞台芸術の推進」を達成するための舞台芸術の創造・発信を支える。

＜演劇外部アドバイザー＞事業全般を俯瞰しつつ、主として広報面での助言を行う。

＜演劇ディレクターチーム＞事業の企画立案から事業に関与し、制作面における専門的知識を生かしながら、劇場職員と共に制作を進める。公演事業においては、同ディレクターを創造団体と劇場をつなぐ役割として配置したことで円滑な制作が実現した。

＜音楽アドバイザー＞劇場職員が企画制作を行う音楽事業について専門的見地から助言を行い、芸術性の質の向上と職員の企画制作力向上に寄与する。また、自身の所属大学（桐朋学園大学、桐朋学園芸術短期大学）との連携に寄与する。

＜ピアノオーディションプロデューサー＞

オーディションによる選考の質を担保し、若手演奏家の訴求力を向上させている。

【舞台・客席変形（施設面）】

当劇場は公称定員121人の小さな劇場であるが、舞台・客席の可変等、柔軟なホール運用ができる利点を芸術的価値の創造に活用している。平面を活用した活動が望ましいワークショップなどの事業では、舞台・客席を取り払ったオールフラットスタイルでの実施、公演事業では、アクティングエリアを広く取るなど、ダンス演出の効果を高めるとともに、迫力・臨場感のある実演芸術を鑑賞者に提供した。

【新演出による再演（舞台芸術等の創造）】

公演事業「オズのまほうつかい」においては、2015年に実施した同脚本を新演出により再上演した。演出家はせんがわ劇場が有する人的資源である「せんがわ劇場DELメンバー（人材養成事業3）から起用し、演出家が得意とする身体表現によって原作（オズの魔法使い）や初演とは異なる創造性を持った作品を鑑賞者に提供した。また、これまでもせんがわ劇場では「ヘンゼルとグレーテル」「銀河鉄道の夜」など、著名な原作を翻案して上演してきた。当事業においても誰もが知っている原作を地域特性や時勢を捉えて解釈し、独自の創造性を加え上演することで、商業劇場や大規模プロダクションでは実現できない、地域の小規模劇場ならではの文化芸術体験を鑑賞者に提供した。

【総括】

以上の観点から、当事業は劇場の施設特性と人的資源を活用し、地域の文化施設としての機能を十分に発揮した事業であったと言える。

自己評価

地域の実演芸術等の振興など、地域の文化芸術の発展につながった（と認められる）か。

【公演事業】当該事業の目的である「創造性・独自性に富んだ事業で市民の感情を動かすことで地域社会にインパクトを与え、地域の文化力向上に寄与する」と、地域の「親子で文化芸術に親しむ習慣づくり」という潜在的ニーズの観点から評価する。来場者アンケートにおける「クリスマスシーズンに今後も公演を鑑賞したいと思いますか」の設問と「せんがわ劇場の利用頻度」のクロス集計では、せんがわ劇場に「今回が初めて」の来場者についてもクリスマスシーズンでの公演鑑賞をしたいと「大いに思う」回答は65%を超え、鑑賞者の内面的変化をもたらし、地域の潜在的ニーズである「親子で文化芸術に親しむ習慣づくり」に効果的であったと考えられる。

また、来場者アンケートの自由記述をもとに、事業で収集した来場者アンケートの自由記述回答（125件）について、フリーソフトウェア KH Coder を用いたテキストマイニングを実施したところ、「大人」「子ども」「楽しめる」という語が共起関係にあることがわかり、このことから当事業が「親子で文化芸術に親しむ」に資する事業であったと言える。また、「ダンス」や「歌」が「凄い」「素晴らしい」という語と共起しており、当事業がダンス等の身体表現の魅力を鑑賞者に伝えることができていたことがわかる。

【人材養成事業】せんがわ劇場演劇コンクール（事業番号1）は、性質上参加団体は舞台芸術活動者として経験が浅いことから、事業終了時までの行程を同事業経験者であるDEL（事業番号3）のメンバーがサポートに当たり、パフォーマンスの最大化に貢献している。参加団体は、コンクールからDEL参加に至り、劇場事業に関わることで、事業理解と劇場及び周辺地域への愛着を深め、地域に実演芸術を振興する展開（普及啓発事業を果たすことにつながっている。また、コンクール出身者同士の新たなコラボレーションが生まれるなど、相互の活躍と経験の場を広げることにつながっている。

実施例：劇団野らぼう presents 夜の短い物語 星善之ひとり芝居『人形と星』 於2023/7/21 あがたの森公園
（劇団野らぼう＝14回（今回）グランプリ 星善之＝DELメンバー／第12回演出家賞）

【普及啓発事業】コミュニケーション型の演劇アウトリーチ（事業番号5）では、せんがわ劇場DELメンバーによる参加者への演劇的なアプローチに対し、教職員向けアンケートには「学校現場での指導的なアプローチ以外の方法を見ることができ、また別の方からの指導をみながら子どもの理解を深める貴重な機会となった」「子どもたちの表情が豊かになるなど、表現の意欲の部分に刺激をもたらしている」という声があるなど、配慮が必要となる対象者（参加者）がコミュニケーション能力を養うために、大変役立っているとの評価を得ている。

また、演劇（事業番号6）、音楽（事業番号7）各分野の鑑賞型アウトリーチにおいては、DELメンバーが観劇対象者（子ども）向けとして創作した演劇作品の上演による双方向の交流や、音楽では調布に縁の深いまたは劇場事業において実績あるアーティストが出演し、調布市内小学校ほか公共施設で良質な芸術文化に触れ親しむことで、児童、園児の創造力や想像性を豊かに育む機会を提供することができた。実施後の参加者アンケートからは「（出演者の）明るく楽しそうに笑顔で歌われている姿が素敵だった。ソプラノ、アルト、テナー、バスが合わさることで、音楽に深みが生まれることをしりました」「一度劇場に行ってみたいです」という声も寄せられるなど、音楽という文化芸術の深みを感じ、自分の日ごろの学びに反映させたいという声や劇場にコンサートを聴きに行ってみたいという感想もあり、参加していた子どもたちの感性に訴え、行動を起こさせる機会となったものと評価している。特に音楽アウトリーチ事業では、当劇場の収容人数121人というキャパシティを大きく超える約1600人が参加しており、次世代を生きる多くの子どもたちが実演による良質な文化芸術に触れ、また地域の公共劇場である「せんがわ劇場」の名前と活動を認識したことにつながるという面では、広報的な面でも役割を果たし、将来的な利用者拡大につながる活動でもあったといえる。

以上のことから、当該助成により実施した劇場主催の各事業は、地域の実演芸術等の振興など、地域の文化芸術の発展に寄与していたものと自己評価する。

(5) 持続性

自己評価

事業を通じて組織活動が持続的に発展する（と認められる）か。

文化芸術活動と社会をつなぐ専門的活動として行う広義のアートマネジメント実務（事業運営、組織・人事管理、財務・会計、ファンドレイジング、マーケティング、社会関係資本の蓄積等）の観点から点検・自己評価する。

【事業運営・ボランティア】せんがわ劇場は、公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団（以下「財団」という。）が指定管理者として運営を行っている。事業運営においては、劇場のミッションを達成し、地域の中で息づき持続的に発展し続ける劇場であり続けることを視野に、共生社会の充実、次世代への文化継承、地域の文化資源の活用、次世代を担う芸術家・鑑賞者の育成などをテーマに取り組んだ。また、令和元年度から10年度までの財団基本計画の前半5年間の最終年度として、国、東京都、調布市の方針等との連動性に留意しながら、前述のテーマを踏まえた計画としての見直しを図るとともに、令和6年度から第2期となる、せんがわ劇場の指定管理者事業計画の策定を行い、組織の持続的な発展につなげている。事業実施においては、文化ボランティア「ちようふアートサポーターズ（CAS）」が、文化芸術活動のサポーターであるとともに、地域活動に主体的に参加するパートナーの輪を広げ、多様な機会において積極的な活動を促し、助成対象事業でも活躍している。

【組織・人事管理】財団基本計画では、人材育成を組織経営の中核に位置付け、文化芸術分野に関する専門的知識と、マーケティング、財務・経理、資金調達、法務、広報等の経営管理に関するスキルを併せ持つ「アートマネジメント人材」の育成を推進している。その成果の一環として、令和5年度は、劇場職員（館長）が白百合女子大学との事業連携における「日本子ども学会学術集会 市民公開シンポジウム」や「全国公立文化施設協会人材育成事業 新任館長等研修」への登壇を果たした。また、文化芸術の領域が拡張している今日的な状況を踏まえ、地域の劇場としての役割を果たすため、外部から専門的人材を登用し、劇場職員と専門的人材がそれぞれの役割を明確にし、劇場のミッション・ビジョンを共有しながら事業を推進する体制を整えている。さらに、令和6年度から劇場の芸術性・創造性をさらに高めるため芸術監督制を導入予定であり、条件整備を行った。

（財務・会計、ファンドレイジング）助成金や協賛金、賛助会費、寄付金等の外部資金の獲得に向けた取組について、公益社団法人全国公立文化施設協議会主催の「劇場・音楽堂等への芸術文化活動支援 支援員の派遣による支援」事業を活用し、支援員から地域の文化施設の役割やミッション、助成金獲得を意識した企画立案についての指導助言を活かし、引き続き、助成金の獲得に取り組んでいる。また、新規寄附者の獲得のために、財団ホームページ上から手続きができるインターネット決済システムを独自に開発・導入し、より安定した資金調達に取り組むほか、寄付金の恒常的な窓口として、賛助会員の仕組みなどを検討している。

（社会関係資本）当劇場と同じ仙川地域に所在する白百合女子大学、桐朋学園大学、桐朋学園芸術短期大学と連携・協働し、助成対象事業においてもこの関係を活用し事業を実施した（普及啓発事業—事業番号1・7・9）。また、劇場内には「仙川ふれあいの家」が併設され、当該施設の指定管理者でもある仙川商店街協同組合とも連携・協働し、地域活性化に取り組んでいる。他方で、他の公立劇場・音楽堂等とのネットワーク形成、連携・協働の取組みによる社会関係資本の構築が継続課題であると考えている。

（PDCA サイクル）助成対象事業におけるアートマネジメント実務は、計画事業実施後の担当者、出演者、企画制作者、舞台技術者等による事業振り返りや目標・指標による業績測定、職員による評価調書作成による総括評価で検証を行い、以後の事業に検証結果を反映させるための中長期計画策定につなげる循環があり、当劇場の指定管理期間及び当財団基本計画による PDCA サイクルの一環となっている。更に中長期計画の中でも実施した検証作業の結果を、前述のとおり第2期せんがわ劇場指定管理者事業計画に反映させていることは、この PDCA サイクルを組織の持続的な発展につなげた事例である。